



なのみ通信

筑前町立東小田小学校 学校通信 12月21日 第10号



「なのみ米」いかがですか〜。

持久走大会の日、5年生は収穫した「なのみ米」を販売。皆様のご協力で440袋（一袋1kg）完売しました。

こんにちは。冷たい北風が冬到来のたよりを運びます。

寒気団の襲来により、この冬一番の冷え込みとなった15日、恒例の持久走大会を開催。子ども達は苦しさを乗り越えゴールを目指しました。極寒の中、皆様のご声援、誠にありがとうございました。また、練習や本番で通行や作業等にご迷惑をおかけしたかも知れません。近隣の皆様に心より感謝申し上げます。

◆ 「人権」をデザインに ◆

12月4～10日の全国人権週間に際して募集された「筑前町人権啓発デザイン画」において、本校の5名が入賞しました。おめでとうございます。

【入賞したみなさん】

○小学1～2年生の部

☆最優秀賞 2年 高橋 さほ さん

☆優秀賞 1年 宇都宮 りん さん

○小学5～6年生の部

☆最優秀賞 5年 古賀 りお さん

☆優秀賞 5年 浅尾 せいのすけ さん

☆優秀賞 6年 福山 かえで さん



「世界中の人みんなが仲良くなれるように。」 古賀さん



「いろいろな人の笑顔を思い浮かべかきました」 高橋さん

◆ 通学路 その5 ◆

学校再開となった六月。通学路に、一人の一年生と、三人の六年生の合わせて四人の集団がありました。入学式もなく緊張して登校する一年生を三人で包むように歩いていました。一年生の歩調に合わせてゆっくりと歩む六年生にも緊張感がありました。

あれから半年。

彼らは通学路を一緒に歩み続けてきました。

夏の強い日差し、横殴りの雨、吹き付ける冷たい風も三人と乗り越えて学校を目指す一年生の歩みには、次第にたくましさが増していきました。そして・・・

いつしか、先頭にはその一年生が、まるで財前教授の総回診のごとく歩いていました。静かで優しく強靭な三人のSPを連れて・・・

私が小学一年生の頃、六年生が給食の時間に助けに来てくれていました。大きな大きな六年生が、私達の容器にミルク（脱脂粉乳）をそそいでくれる。このことが、とても嬉しくて心強かったことを今も覚えています。コロナ禍の中、一年生と六年生に、心に響くたくさんの方のふれあいをさせられずにいることに、胸が痛みます。

春が来れば、財前教授は二年生。

そして、三人は中学へと進んでいきます。

彼は、誰かほかの友達と歩くのでしょうか。それとも次の一年生のかたわらで、あの三人のようにそっと寄り添い歩くのでしょうか。

胸に残る思い出と寂しさは、また一段と、彼を成長させていくことでしょう。

今朝も、そろそろ彼らが来る時間です。